

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 20 年 8 月 27 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 20 年度第 5 回)		
出席者	田中明会長、石坂副会長、荒木委員、石井委員、石黒委員、岩木委員、岡村委員、金井委員、木内委員、竹内委員、竹田委員、田中正雄委員、中村委員、西川委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦英雄委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)酒井委員、宮崎委員 (事務局)古川まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐		
会議次第			
1 開会(古川まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ(田中会長) 城南地域協議会として分科会を組織し、具体的に取り組むかどうかが今回の課題になる。本日も円滑に協議会を進められるよう御協力をお願いしたい。			
3 報告事項			
(1) 上下水道料金改定案について(担当課:上下水道局経営管理課)			
【報告要旨】			
資料「上下水道料金改定案について」により担当課から報告			
・水道料金改定諮問内容			
・下水道使用料、農業集落排水施設使用料改定諮問内容			
【主な質疑等】			
(委員)下水道の本管整備終了後、3年以内に接続工事を行わなければならないとされているが、10年経ってもまだ工事をしていないお宅がある。その点について、考えを聞かせて欲しい。			
(担当)法律では3年以内となっているが、罰則規定がない。はがきや文章でお願いをしている。本年度から個別訪問を始めており、お会いした4割くらいお宅のは、近いうちにつなぐとの回答をいただいている。			
(委員)県営水道の話が聞きたい。			
(担当)県営水道は塩田地域と川西地域がエリアになっている。県の企業局が経営しており、料金は県営水道の方が若干高くなっている。			
(委員)平成21年から平成24年まで利息の削減ということだが、それ以後はど			

うなるのか。下水道料金については上田は県下でも高い方だが、その辺はどうか。

(担当) 利息ですが、3年間で33億円繰上げ償還すると、約10年間で9億5千万円の支払い利息の削減になる。そのうち今回の4年間で削減できるのは、5億5千万円程度となる。繰上げ償還については平成19年から平成21年までの特例処置である。

かつて上田市の下水道料金は、10万都市の中で全国1位だったと思う。他が上がってきているので、順位は下がってきている。長野県の中では、改定前に19市の中で3番目だった。今回の改定で10番目に下がる。長野県は1平方キロメートルの戸数が少ないため、全国平均よりも高めになってしまう。

(委員) 上下水道料金の収納率が向上したというが、どのように向上したのか。

(担当) 新市合併当時は96パーセントで、平成19年度には98.5パーセントに上がってきた。対策の中では、どうしても払っていただけない方に、本来したくないが給水停止を行って対応している。

4 協議事項

(1) 第2期地域協議会の具体的協議(分科会)について

【報告要旨】

(事務局) 分科会の内容について説明

・委員の希望を取り入れ、4つの分科会に分かれて各課題について検討を進める。

第一分科会：「上田道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点作り」5名

第二分科会：「人や自然にやさしい交流機能の整備」5名

第三分科会：「歴史的・地域的資源の活用」「自然と共生を目指す里山の再生と農地の保全」5名

第四分科会：「地域で子どもを育てるまちづくり」5名

全体会：「地域づくり活動拠点の整備」全員

【主な質疑・回答】

特になし

(2) 長野病院長との懇談会について

【報告要旨】

(事務局) 長野病院との懇談会を希望した委員は13名だったので、長野病院へ申し入れをした。日程について検討いただきたい。

【主な意見等】

(委員) 会長と事務局で長野病院長と相談して決めて欲しい。

(事務局) 9月の下旬で調整したい。

5 その他

- ・次回会議開催について

平成 20 年 9 月 24 日 (水) 開催予定

6 各分科会協議

閉 会